

令和7年度 児童アンケートの結果とまとめ

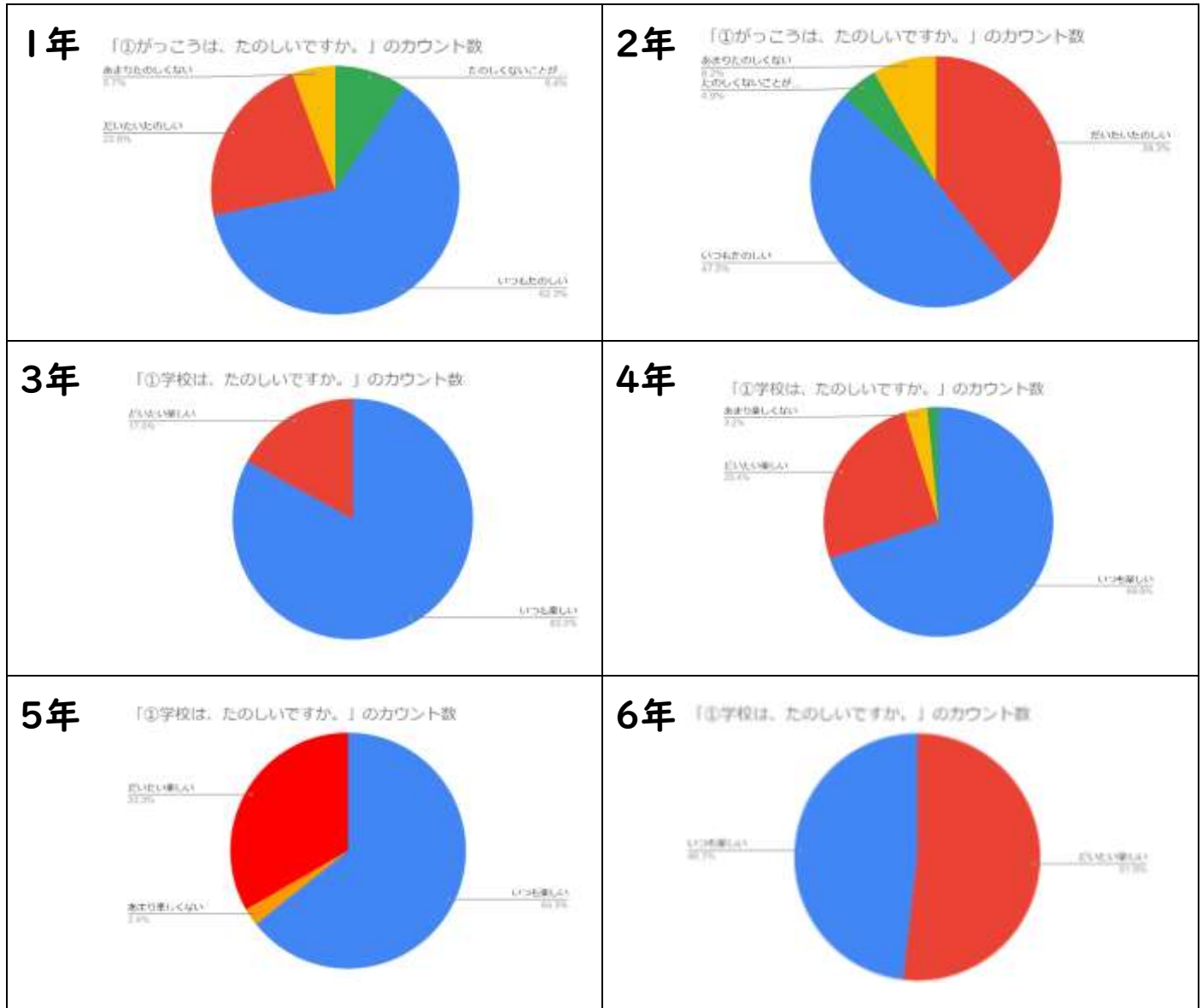
調査実施期間：令和5年12月11日～20日

各設問ごとの回答

・各学年ごとに回答を集計しました。

- 1 いつもたのしい
- 2 だいたいたのしい
- 3 あまりたのしくない
- 4 たのしくない

1、学校は楽しいですか？

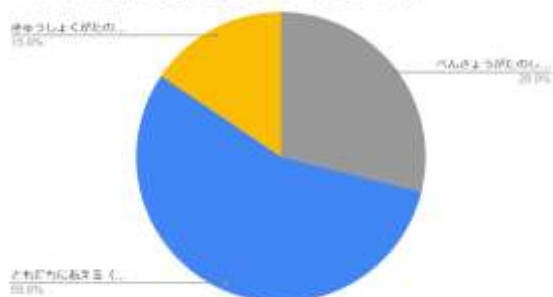


2、楽しい・だいたい楽しいと答えた人への質問です。
そのわけを教えてください。

- 1 友達にあえるから
- 2 学校が楽しいから
- 3 給食が楽しみだから
- 4 自分の好きな場所があるから
- 5 その他

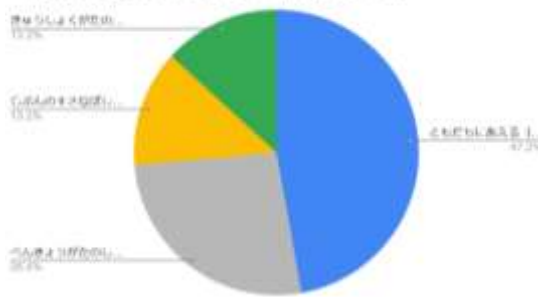
1年

「そのわけを教えてください。」のカウント数



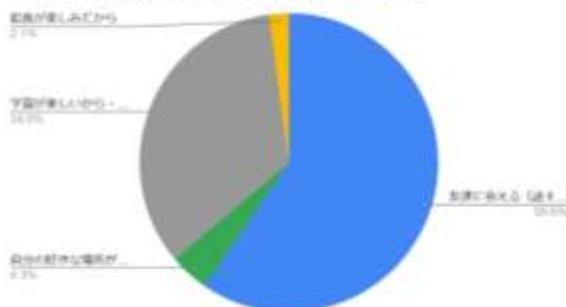
2年

「そのわけを教えてください。」のカウント数



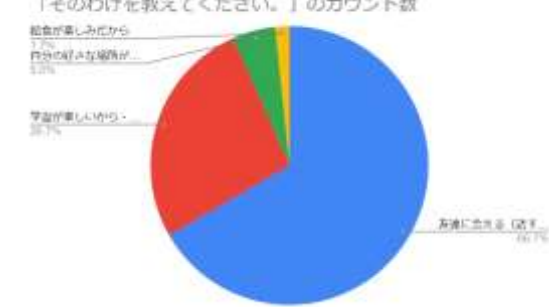
3年

「そのわけを教えてください。」のカウント数



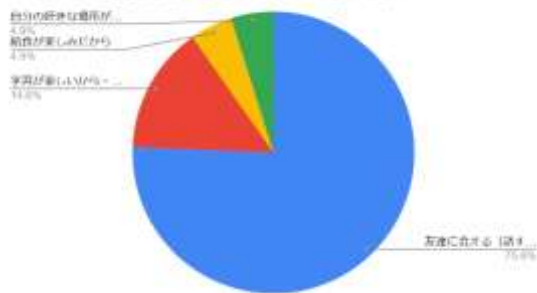
4年

「そのわけを教えてください。」のカウント数



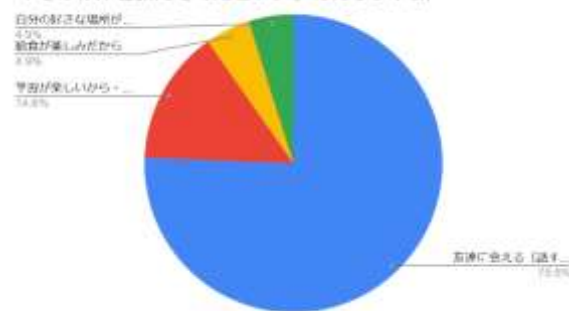
5年

「そのわけを教えてください。」のカウント数



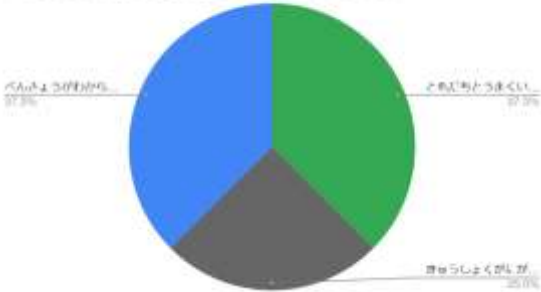
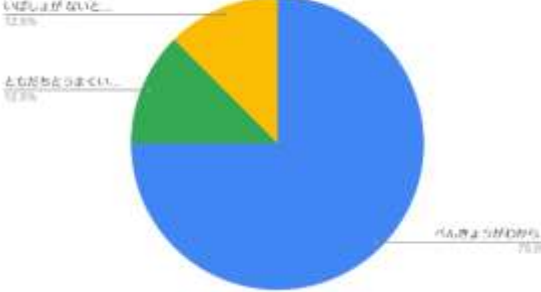
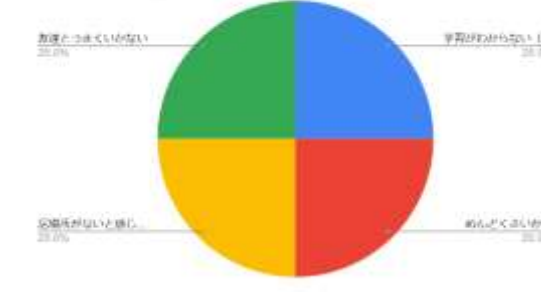

6年

「そのわけを教えてください。」のカウント数



3、楽しくないことが多い・楽しくないと答えた人への質問です。そのわけを教えてください。

- 1 学習がわからないから
- 2 面倒くさいと感じるから
- 3 居場所がないと感じるから
- 4 友達とうまういかないから
- 5 その他

<p>1年 「そのわけを教えてください。」のカウンタ数</p> 	<p>2年 「そのわけを教えてください。」のカウンタ数</p> 
<p>3年</p> <p style="text-align: center;">該当者なし</p>	<p>4年 「そのわけを教えてください。」のカウンタ数</p> 
<p>5年 「そのわけを教えてください。」のカウンタ数</p> 	<p>6年</p> <p style="text-align: center;">該当者なし</p>

まとめ

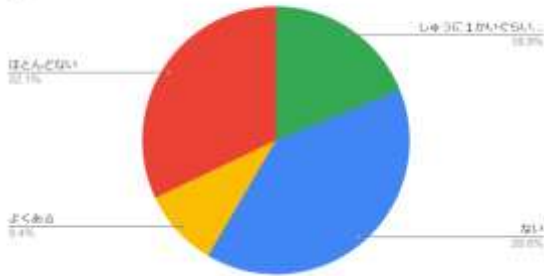
- ・3～6年生は、「いつも楽しい」「だいたい楽しい」が90%以上となっている。1年生、2年生でも約85%以上は、肯定的な回答となっている。
- ・3年生、6年生は「いつも楽しい」「だいたい楽しい」という回答で100%であった。
- ・1～3年生で約30%が「勉強が楽しい」を好きな理由に挙げている児童もいる。
- ・「あまり楽しくない」「楽しくないことが多い」と回答した児童の理由を見ると、「学習が分からない」「友達とうまういかない」「居場所がない」となっている。
- ・「学習がわからない」を楽しくない理由に挙げている割合も低くはない。より分かりやすく、児童の意欲を引き出す授業づくりに取り組んでいくこと、一人一人の児童に合わせた学習支援の方法を考えていくことに全教職員で取り組んでいく。
- ・道徳や学活の時間等を使って、児童の自己肯定感、自己有用感を高め、仲間づくりを深める取組を行っていく。
- ・「いじめ」に関しては、どんな小さいことでも見逃さず、その場で指導、支援ができるよう、これも全教職員が共通の意識をもって取り組んでいくようにする。
- ・家庭との連携も密に行い、児童の気持ちに寄り添った支援をより一層心がけるようにしていきたい。

4、学校へ行きたくないと思うときがありますか。

- 1 ない
- 2 ほとんどない
- 3 よくある
- 4 週に1回ぐらいある
- 5 その他

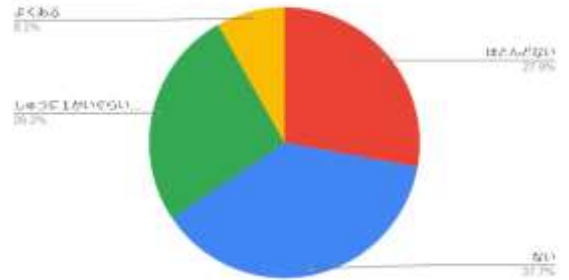
1年

「がっこうへいきたくないときがありますか。」のカウント数



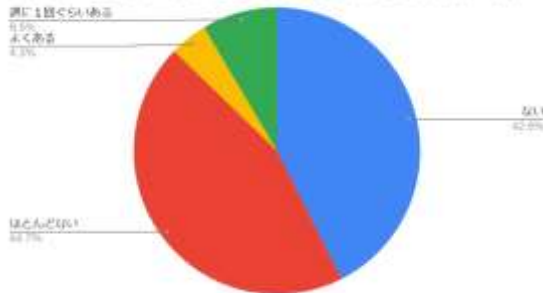
2年

「がっこうへいきたくないときがありますか。」のカウント数



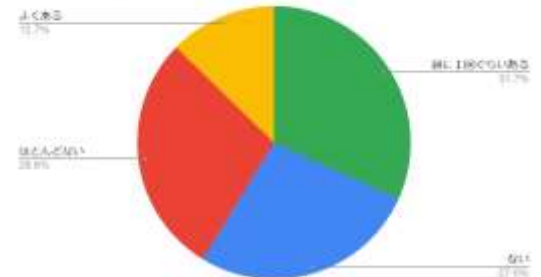
3年

「学校へ行きたくないときがありますか。」のカウント数



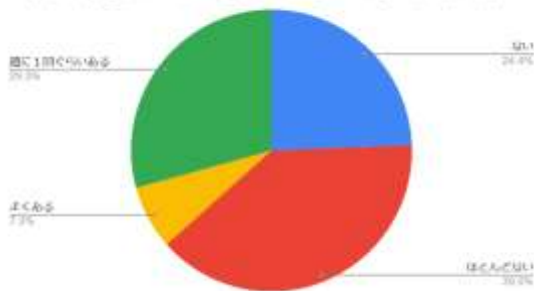
4年

「学校へ行きたくないときがありますか。」のカウント数



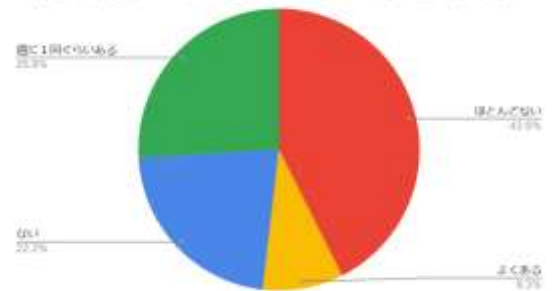
5年

「学校へ行きたくないときがありますか。」のカウント数



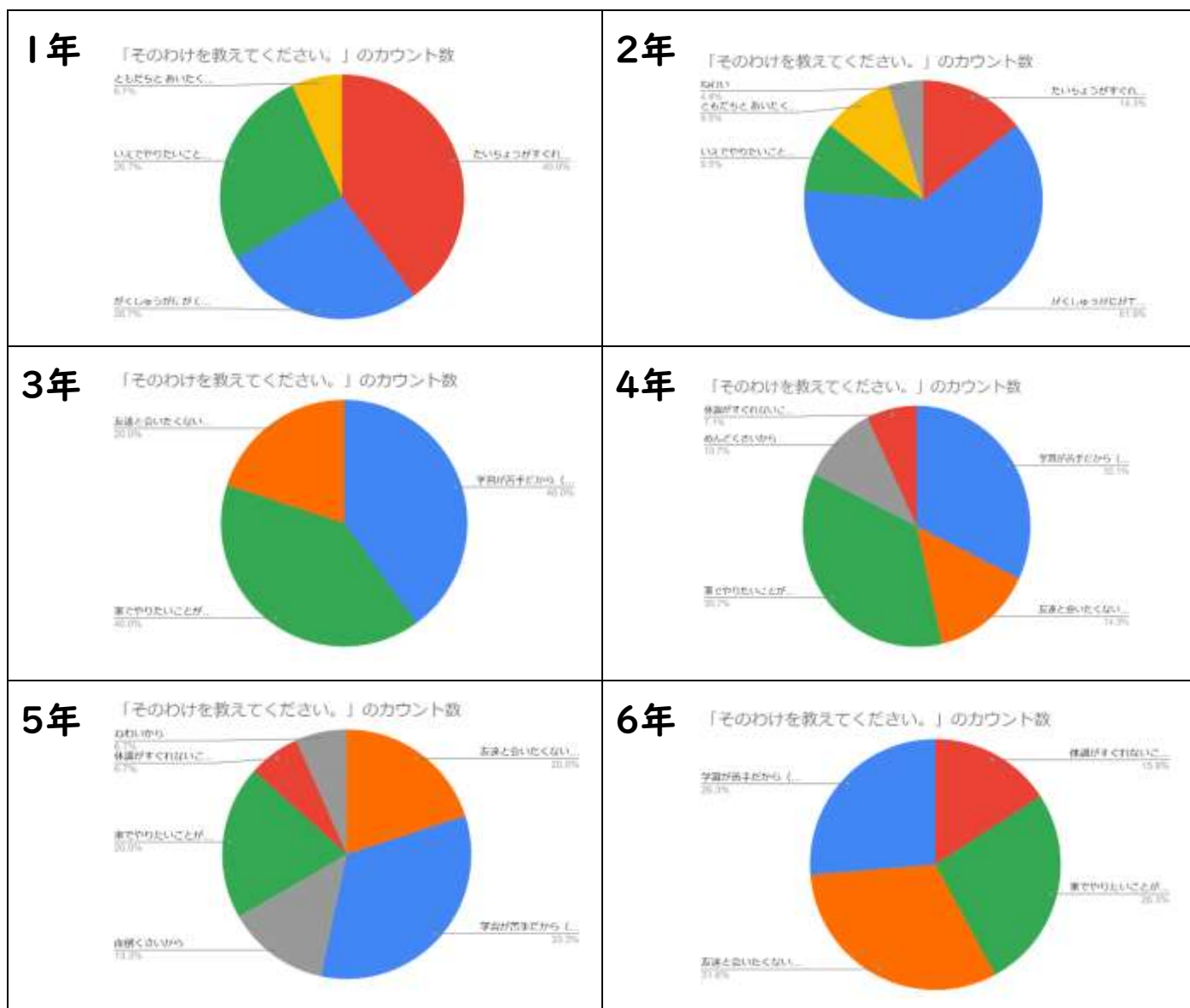
6年

「学校へ行きたくないときがありますか。」のカウント数



5、週に1回ぐらいある・よくあると
 答えた人に質問です。
 そのわけを教えてください。

- 1 学習が苦手だから
- 2 体調がすぐれないことがあるから
- 3 友達と会いたくないと思うことがあるから
- 4 家でやりたいことがあるから
- 5 その他

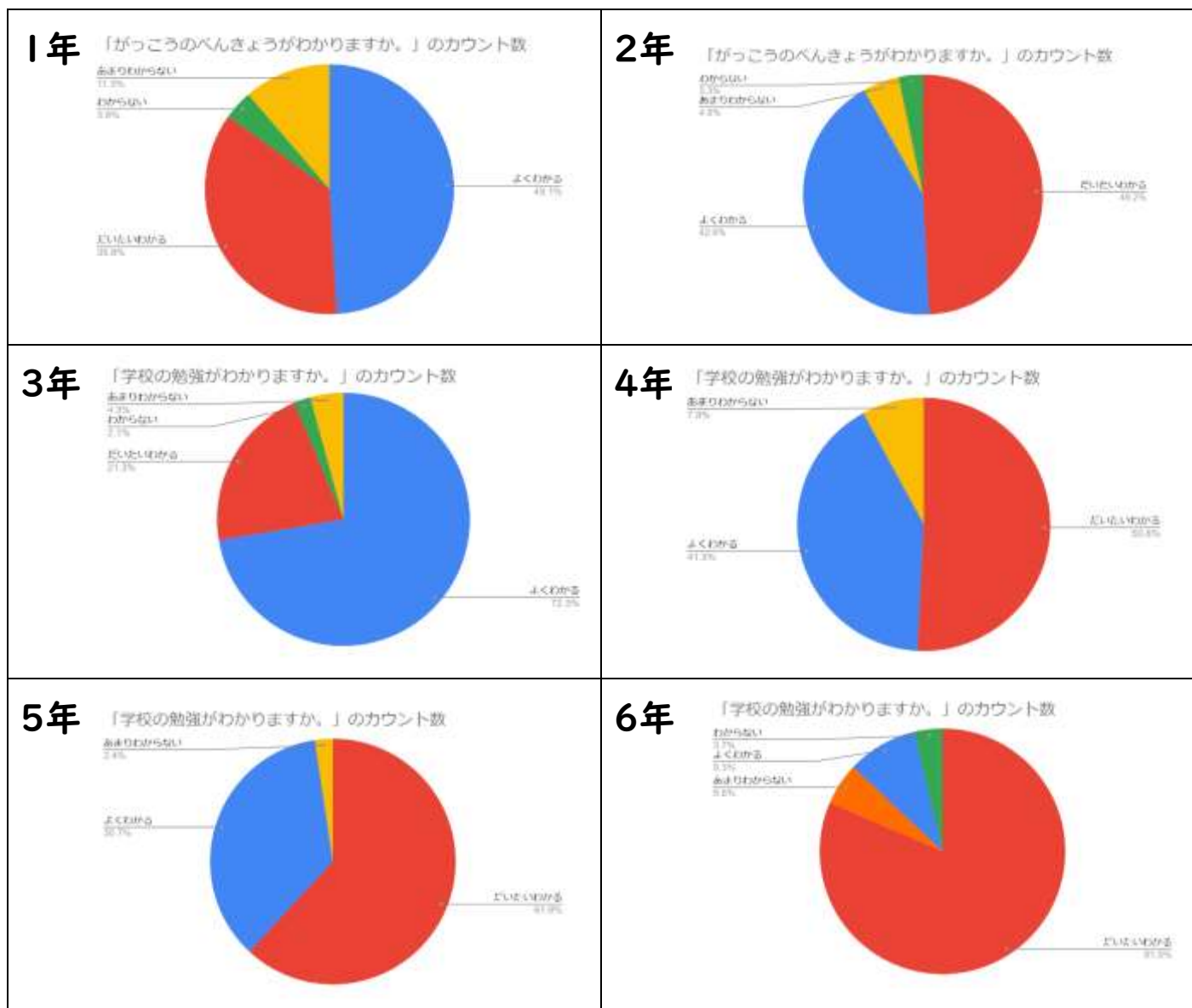


まとめ

- ・全校で学校に行きたくないと思うことが「よくある」と答えた児童は(8.3%)「週に1回ぐらいある」と答えた児童は、(23.7%)で2つを合計すると(32.0%)となっている。
- ・理由として、「友達関係」「学習が苦手」があげられる。学校が楽しいと思えない理由があげられていることが多いので、今後も丁寧に児童を見取り、対応を考えていくことが重要になる。
- ・「体調がすぐれない」「家でやりたいことがある」を挙げている児童もいるため、家庭とも連携し、元気に学校へ登校してこられるよう指導を行っていきたい。
- ・本年度、不登校傾向に児童も数名みられるため、児童が学校へ楽しく通ってこられるよう、全教職員が児童理解を深め、児童の居場所を学校に作っていきけるよう努力していく。

6、学校の学習がわかりますか。

- 1 よくわかる
- 2 だいたいわかる
- 3 あまりわからない
- 4 わからない
- 5 その他

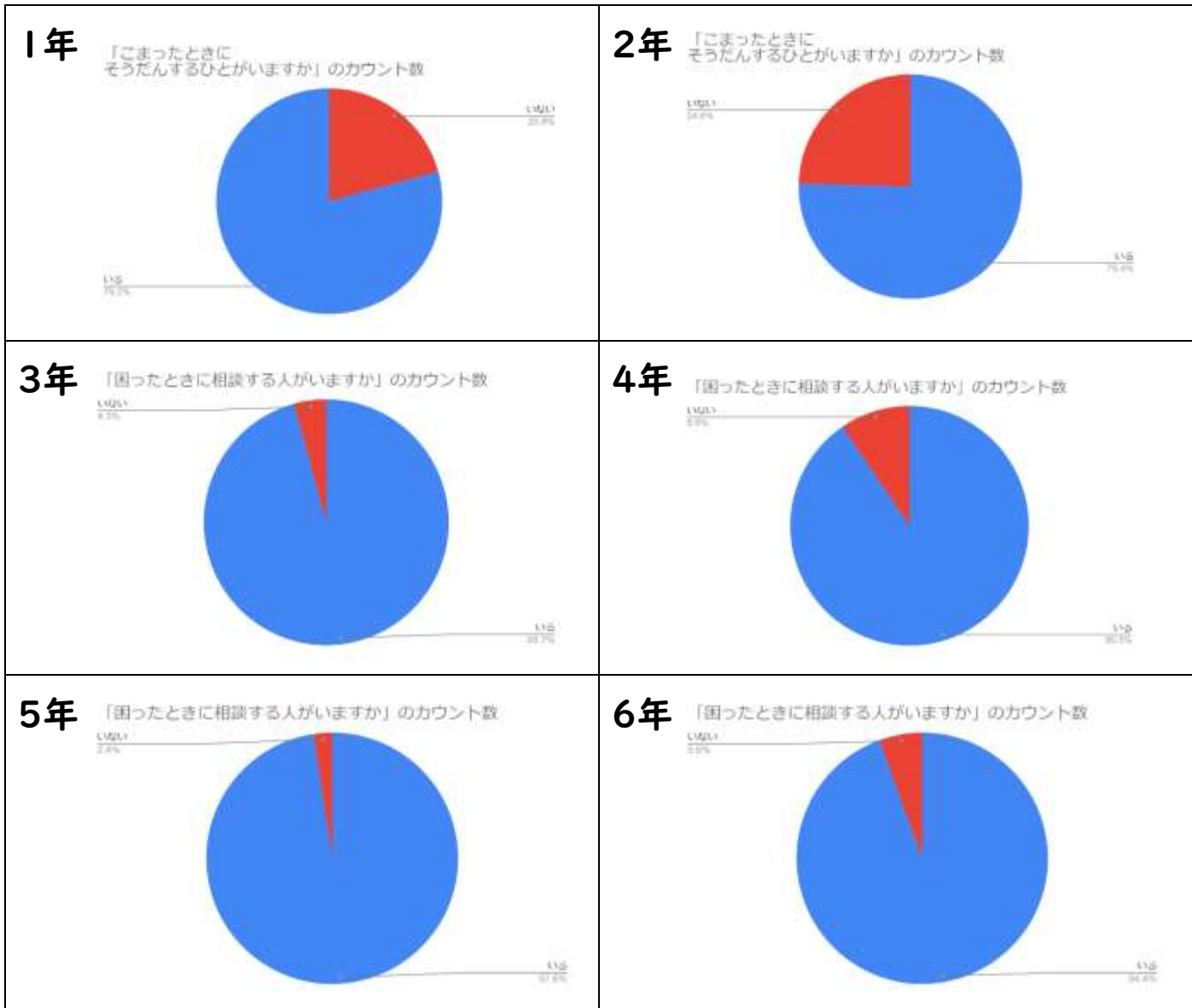


まとめ

- ・全校では、91.6%の児童が「よくわかる」「だいたいわかる」と肯定的な回答をしている。6年間を通して、学習の積み重ねができてきているという成果でもありと捉える。今後も、低学年のうちから、「わかる授業」を展開し、学ぶ楽しさを感じることができる授業づくりに取り組んでいきたい。
- ・また、家庭学習についても、児童の意欲を高め、学校の授業との往還がある家庭学習について研究を深め、家庭と連携を取りながら進められるようにしていきたい。
- ・さらに、今後は、一人一台端末の効果的な活用についても、全校体制で考えていきたい。

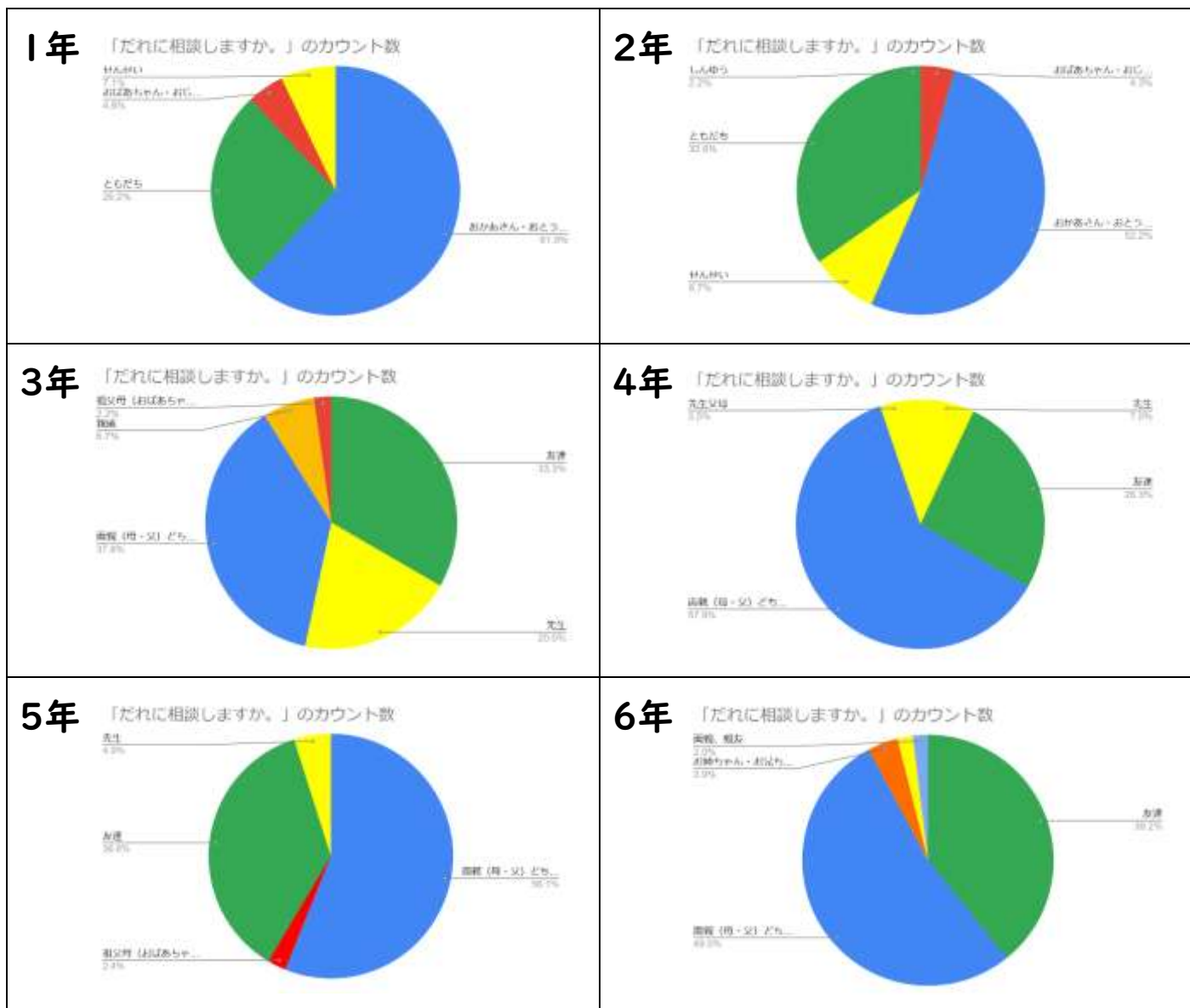
7、困ったときに相談する人がいますか。

- 1 いる
- 2 いない
- 3 その他



8、いると答えた人に質問です。
だれに相談しますか。

- 1 両親
- 2 祖父母
- 3 親戚
- 4 友達
- 5 先生
- 6 その他

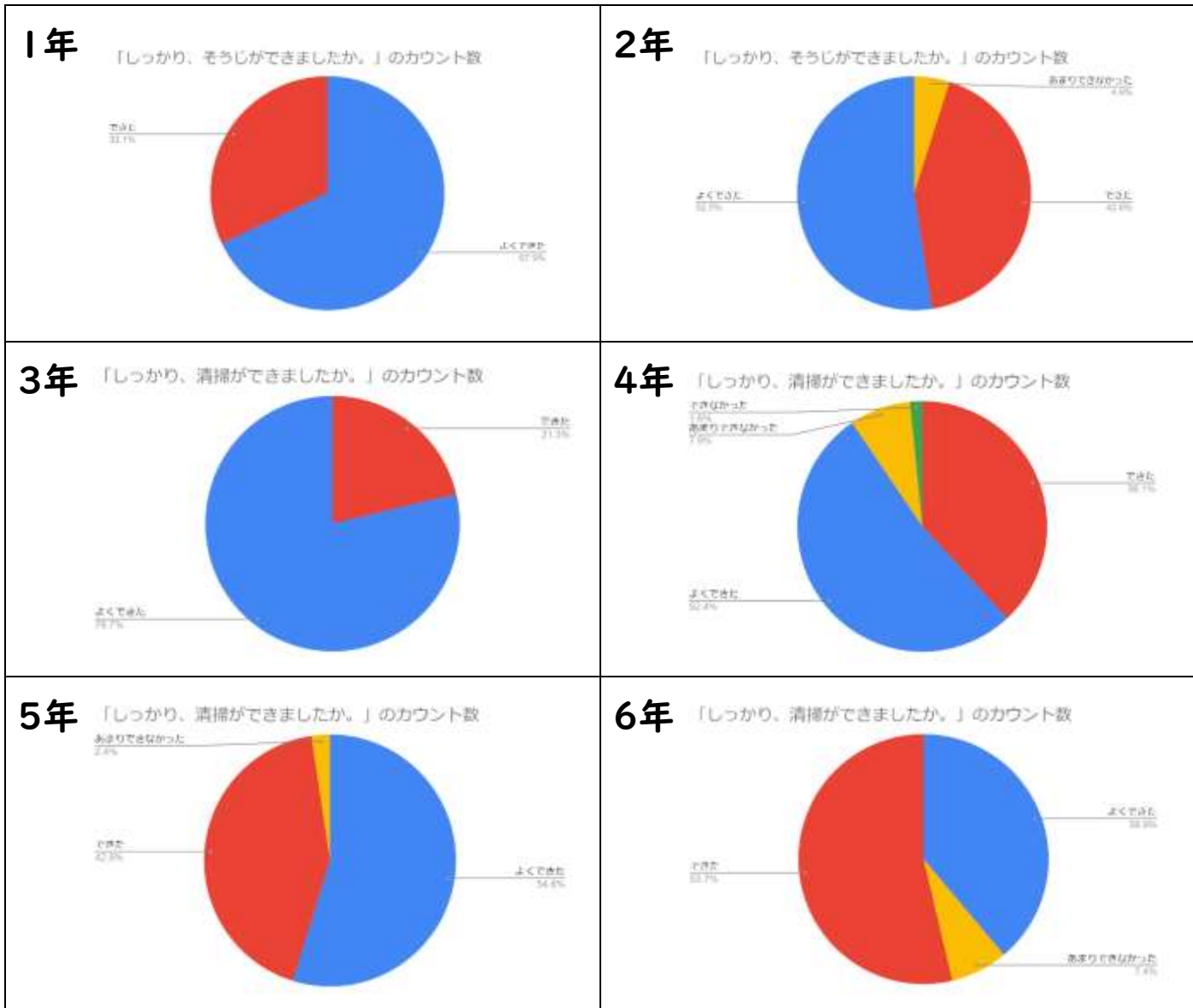


まとめ

- ・困ったときに相談する人が「いる」と回答した児童が、全校で 88.1%となっている。学年が上がる程に、相談できる人がいないと回答している児童は少なくなる傾向である。今後も、児童が、困ったことを素直に言えるように支援していきたい。
- ・相談できる人がいないと回答している児童もあり、今後も、全教職員で全児童を見守っていけるよう学校体制も整えていきたい。
- ・児童が相談する人は、家族や友達が多くなっているのので、学校と家庭でより連携を深め、児童の困り感や、変化を見落とさないようにしていきたい。

9、しっかり清掃ができましたか。

- 1 よくできた
- 2 できた
- 3 あまりできなかった
- 4 できなかった
- 5 その他

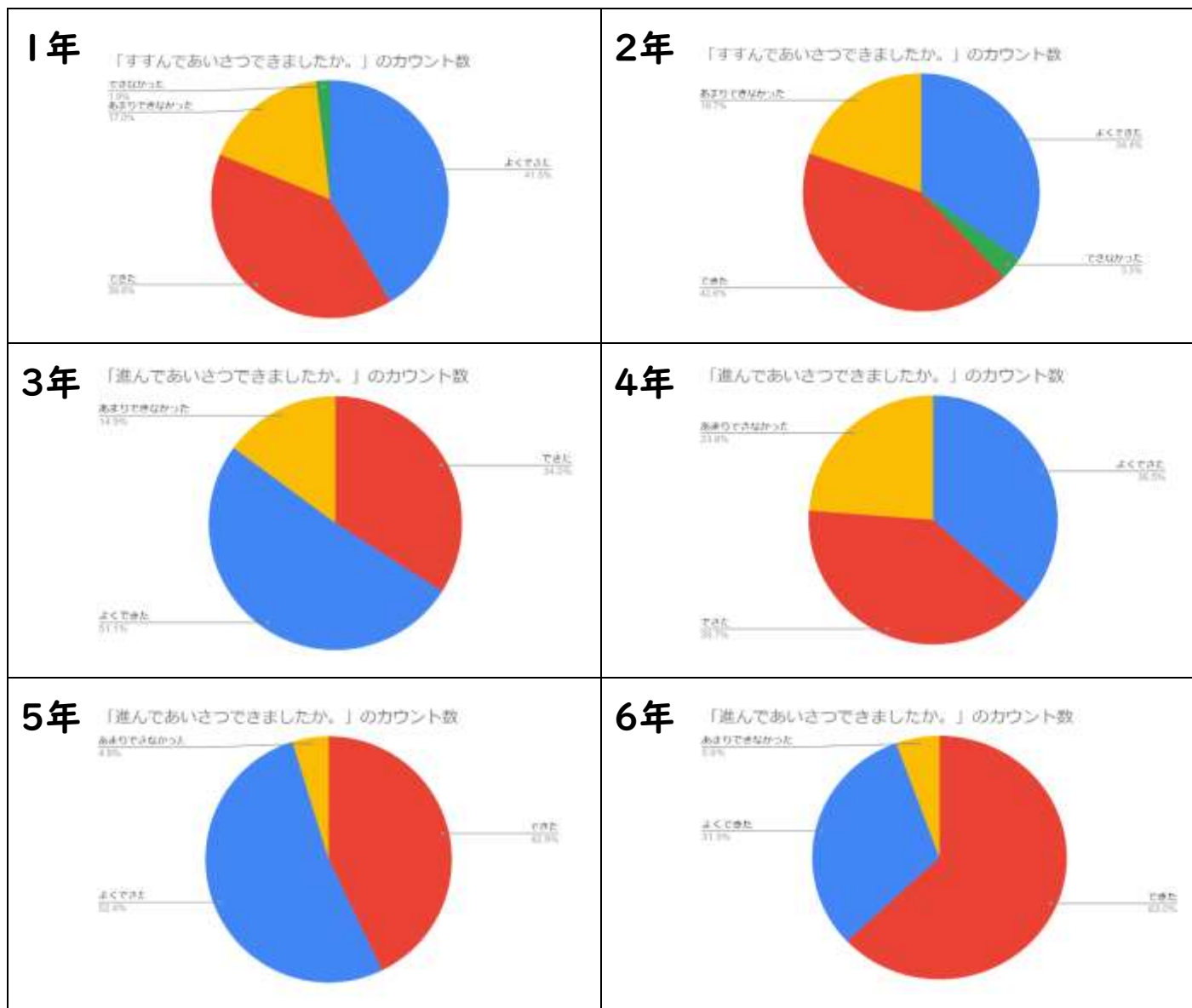


まとめ

- ・多くの児童が、清掃にまじめに取り組むことができたと回答している。
- 本校の児童は、全体的に、良く働くことができる児童である。
- ・教職員の自己評価では、清掃の回数をもう少し増やしたいという意見も出されているため、今後も、「無言清掃」に取り組むことができるよう、指導を続けていきたい。

10、進んであいさつできましたか。

- 1 よくできた
- 2 できた
- 3 あまりできなかった
- 4 できなかった
- 5 その他



まとめ

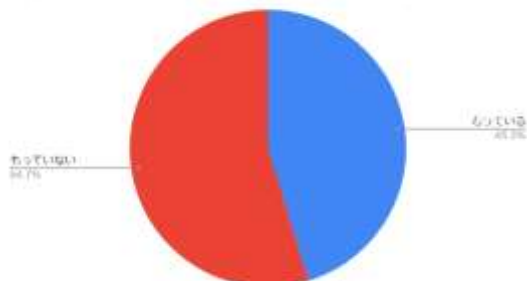
- ・全校で約84%の児童が進んであいさつが「よくできた」「できた」と回答している。教職員の自己評価と少しギャップがある項目となっている。「進んであいさつする」という捉えが、児童と保護者、教職員の間意識の違いがあるのかもしれない。また、あいさつについては、自分がいさつをしたという感覚と、受ける相手側の感覚との間にも差が生まれやすいと考える。
- ・具体的な行動を提示しながら、今後も、気持ちの良いあいさつができるよう、教職員も進んであいさつに取り組んでいきたい。また、明るいあいさつが交せるような心も余裕をもてる学校生活を構築していきたい。

11、じぶんの携帯電話を持っていますか。

- 1 もっている
- 2 もっていない

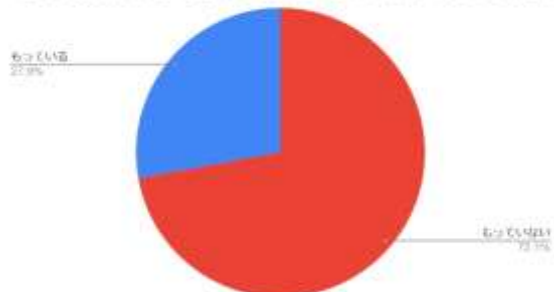
1年

「じぶんのけいたいでんわを持っていますか。」のカウント数



2年

「じぶんのけいたいでんわを持っていますか。」のカウント数



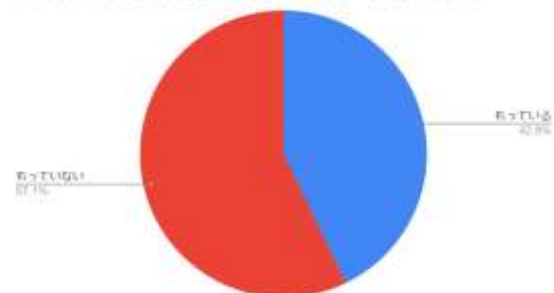
3年

「自分の携帯電話を持っていますか。」のカウント数



4年

「自分の携帯電話を持っていますか。」のカウント数



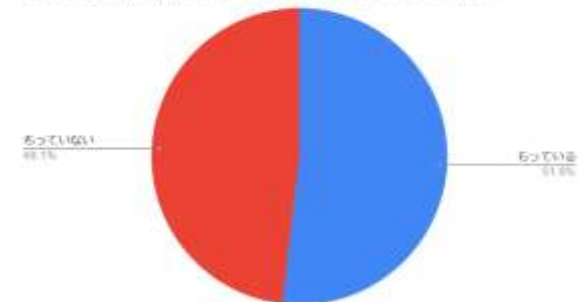
5年

「自分の携帯電話を持っていますか。」のカウント数



6年

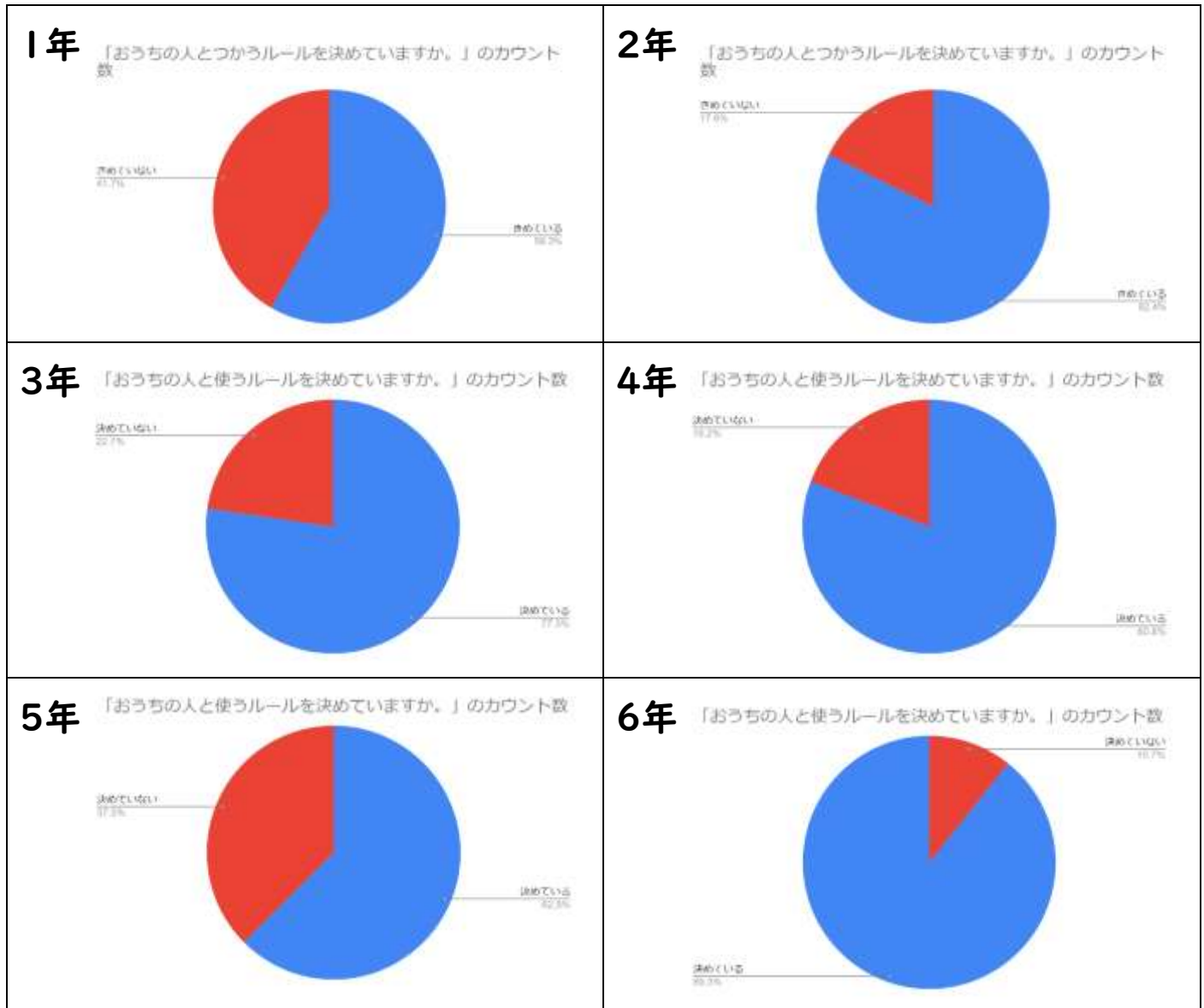
「自分の携帯電話を持っていますか。」のカウント数



12、じぶんの携帯電話を持っていると答えた人に質問です。お家の人とルールを決めていますか。

- 1 決めている
- 2 決めていない

今後も、「集中清掃」に取り組むことができるよう、指導を続けていきたい。



まとめ

- ・携帯電話の所持に関しては、学年によって、ばらつきが見られるが、高学年になるほど、所持する児童の割合は高くなっている。持っている児童は、家庭でルールを決めて使用している児童がほとんどである。しかし、決めていない児童もいることから、今後も、家庭と連携し、正しい携帯電話（スマホ・SNS など）との付き合い方について、指導していく必要がある。
- ・特に、「ルールを決めていない」と回答している児童には、家庭へ呼びかけ、ルールの中で使用ができるようにしていきたい。児童が、事件や事故に巻き込まれるケースが増えているため、SNS が将来に及ぼす影響なども含め、啓発活動を行っていきたい。